

JOMF 派遣医師便り (2014. 11)

◆マニラ◆

心臓に異常な音

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

今回は「心臓の音」について考え、異常があった場合に当地マニラで一般に行っている検査について話します。

皆さんが病院を受診すると必ず「聴診」を受けると思います。医師は聴診器を胸に当てたり、腹部に当てたり、時には首の動脈の音を聞いたりします。

胸部の聴診は心臓の音や呼吸音（肺の音）を聴いています。腹部に当てているときは消化管の動きや腹部大動脈を流れる血流の音を聴いています。また頸部（首）では血流の雑音を聴いています。

前胸部に聴診器を当てると誰でも「心臓の音」が聴こえます。多くの方は1分間に約70回、24時間休みなく毎日約10万回拍動している心臓の音が聴こえます。正常では1回の脈に対して“トット”と2回の心音が聞こえます。心臓の中にある弁の開閉や血流速度、血液逆流に応じて心音にも変化が出たり、心雑音（心音と心音の間に聴こえるノイズ）が聴こえることもあります。

心臓の聴診で異常があれば鑑別疾患として必ず心疾患は考えますが、異常音が聴こえても必ずしも心臓疾患とは限りません。例えば貧血、発熱、呼吸器疾患、甲状腺疾患、高血圧症、脱水などでも心臓に異常な音が聴こえます。機能性雑音といって健康な方から聴取される心雑音もあります。

心臓は胸部の真ん中にありますが、異常音が胸部のどこで聴こえるのか（場所）、異常音の強さ（程度）などにより病気を絞り込みます。医療が発達した今日でも聴診器は疾病の初期診断に極めて重要な医療機器です。

この様に異常心音・雑音は様々な要因で聴取されます。精査が必要と考えるときは血液検査、心電図、レントゲン検査、心エコー検査などの検査を進めて行きます。これらの検査は当院を含めてマニラの多くの病院で可能ですが、更に精査が必要となれば患者さんの希望に応じて日本の専門病院に紹介させていただいています。ご不安な方はいつでも御相談ください。

どうぞお大事にしてください。